

平成31年度 家庭 「家庭基礎」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 2年 A～E組
教科書	家庭基礎 ともに生きる 明日を生きる (教育図書)	副教材等	

1 学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	オリエンテーション 人生って何だろう	「家庭基礎」を学ぶにあたって	・「家庭基礎」を学ぶにあたって、学習の目的や内容、評価の方法などを理解する。	行動観察
	家族って何だろう	1 家族について考えてみよう	・家族と社会の関わりから自分を見つめ、将来の家族や求められる家族像・家族の課題について考える。	ワークシート
	家族と社会の関わりは？	2 家庭社会と社会の働き	・自分の家族を例に、家庭での働き・役割について考え、見い出せる。	ワークシート 演習課題
5		3 男女ともに築く家庭	・現代の家族の特徴や家庭の機能について、今ある家族に関する問題を理解し、家族のあり方の変化が人々に意識の変化をもたらしていることを理解する。	ワークシート
		4 家族、家庭は法律でどう決められているか		
7	食生活を見つめよう	1 食事の働き	・食事をすることの目的を知る	ワークシート
		2 食生活を見つめよう	・現代の食生活の問題点を知り、その問題について解決する方法や知識を身につけられるようにする。	取組み姿勢 行動観察・記述の分析
	食品の選択と取扱い	3 食品の選択と取扱い	・食の安全・安心について学習したことを意欲的に実生活に取り入れられるようにする。	行動の観察 (確認テスト)
		4 調理実験	・食中毒予防に配慮しながら、調理実験をおこない、実践力を養う。 《調理実験》生クリームからできるもの	ワークシート・記述の点検 行動観察
		期末考査		
9	食生活を見つめよう	5 自分の食生活をふり返ってみよう	・自分の毎日の食生活をふり返り問題点を見つける ・どのような食生活を送ることが大切か家族の食生活を含めて関心を持っている	ワークシート 演習課題
10	献立づくりと調理	6 私たちの食べているもの	・毎日の食生活で口にしている食材を、栄養素別・食事摂取基準・食品群別摂取量のめやすなどとともに、栄養のバランスを理解する	ワークシート
		7 調理実習	・料理の作り方を理解し、調理に必要な技術を身につけ、効率よく実習が出来る 《実習1》和食(みそ汁・ラップのり巻き) + 確認テスト 《実習2》米料理(ピラフほか) + 確認テスト	ワークシート・ 記述の確認 行動観察 (実習・確認テスト)
11				
12	ホームプロジェクト (冬休みの課題予定)	・家庭基礎の学習を通して得た知識・技能を活かし、生活の課題を解決する	・活動の菜は家族や地域の協力が得られるかどうかを確認して進めること	演習課題
		期末考査		

1	保育 子どもは どう育つのだろう	1 子どもの発育・発達	・自分の周辺にいる子どもに関心をむけ、乳幼児の心身の発達と生活について知る 《実習3》 子どものおやつを作ろう	行動観察・ワークシート 記述の点検 (実習・確認テスト)
	2	親になるとは どういうことか	2 親の役割って なんだろう	・参考VTRなどによって、乳幼児の生活を観察したり、知っていること、見聞きしたなどをまとめ、成長の様子を理解する
3		子どもを取り巻く 環境は？	3 子どもを取り巻く 環境の変化	・親になるイメージし、親の役割と保育、子どもの育つ環境について理解を深める
	まとめ	4 子育てに関わる問題点	・子どもを取り巻く現代の問題(育児不安・虐待など)に目を向け、その原因や理由、命と真剣に向き合う姿勢を身につける	ワークシート・記述分析
		5 家庭保育と集団保育	・少子高齢社会との関連性についても考える。 ・家庭生活を支える社会保障制度や社会福祉について理解する。	ワークシート・行動観察
		1年間のふり返り	・「家族」～「保育」領域の内容をふり返りながら、自分の将来像について、まとめる。	演習課題(レポート)
		学年末考査		

3 評価の観点

関心・意欲・態度	人の一生と家族・家庭及び福祉・衣食住・消費生活などについて関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけているか。
思考・判断・表現	人の一生と家族・家庭及び福祉・衣食住・消費生活などについて課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけているか。
技能	人の一生と家族・家庭及び福祉・衣食住・消費生活などに関する基礎的・基本的な技能を身につけているか。
知識・理解	人の一生と家族・家庭及び福祉・衣食住・消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身につけているか。

4 評価の方法

家庭への関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能、知識・理解の4観点から評価基準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- 授業に必要な道具(教科書・プリント・ファイル)は、毎時間必ず用意すること。
- 生活に関するニュースや身のまわりの出来事に興味関心を持つように心がける。
- 授業時間に配るワークシート・プリントを記入して時間中に提出する。毎時間きちんと書き取り、まとめること
- 提出物は、期限を守ることを意識する。
- 調理実習は、安全と衛生(爪・髪)・服装=準備(エプロン・三角巾・付近・手ふきタオル持参)に注意しながら行うこと。
- 毎学期の評価のめやす 《100点》

★ 期末考査	100点満点	→	50%	
★ 平常点		→	50%	{ 1) プリント(毎時間回収) 約25% 2) 確認テスト 約16% 3) レポート・演習/実習など 約10%

平成31年度 家庭 「家庭科研究」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 3年 A～E組・選択者
教科書	家庭基礎 ともに生きる 明日を生きる (教育図書)	副教材等	

1 学習の到達目標

家庭生活に関わる実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、自分の生活に彩りを添え、快適な住空間や豊かな食文化継承の実現を目指しながら課題の発見や解決を意識する姿勢を育み、人生活の質の向上に取り組む姿勢を養う。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	オリエンテーション	「家庭科研究」を学ぶにあたって	<ul style="list-style-type: none"> 「家庭科研究」を学ぶにあたって学習の目的や内容、評価の方法などを理解する。 	行動観察
5	家庭基礎の復習(衣) 人間と衣服	<ol style="list-style-type: none"> 衣服の機能 衣服の成り立ちと性質を考えよう 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の機能についてこれから迎える社会生活を念頭におき、社会習慣への適応と衣服材料（繊維・布性質等）について理解する 	ワークシート
6	刺し子	<ol style="list-style-type: none"> 日本の伝統模様を知る 作品製作～刺し子の基本～ 	<ul style="list-style-type: none"> 刺し子によく使われる伝統的な文様の種類や意味を知り、現代に受け継がれている意味について理解を深める。 刺し子の製作を通じて日本の伝統文化に触れると同時に、手芸の基本的技法の確認を行いながら基礎的な技術について理解する。 	ワークシート 作品制作への 取り組み姿勢
7		<ol style="list-style-type: none"> 仕上げ 	<ul style="list-style-type: none"> 刺し子を施した布を使って、家庭基礎で学んだ基礎技術を活用しながら、ミニトートバックの製作を進める。 	製作進度 (途中経過を含む) 完成作品のできばえ
期末考査				
9	家庭基礎の復習(住) 人間と住まい	<ol style="list-style-type: none"> 住まいと生活 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住生活の自立について考える。 様々な住居や、住空間、平面図の読み取りなどについて学習し、充実した住生活を営むために必要となる情報について理解する。 	ワークシート
10		<ol style="list-style-type: none"> 消費者としての自立 	<ul style="list-style-type: none"> また、「部屋探し」の演習を通じて経済的自立についても考え、現代の消費生活の課題、消費者問題などについて認識し、消費者としての自立を目指す。 	取り組み姿勢 行動観察・記述の分析 行動の観察
11		<ol style="list-style-type: none"> 人間と住まい 	<ul style="list-style-type: none"> ライフステージに応じた住居、人間と住居との関わりについて理解する。 家族の生活の場として住居の条件について生涯を見通して考える 	ワークシート・記述の点検 行動観察
12	家庭基礎の復習(食) 食文化	<ol style="list-style-type: none"> 食文化 	<ul style="list-style-type: none"> 食文化の面から食生活の充実向上について考える。 《調理実習》和食 ※可能であれば、(株)にんべん・出張食育講座 ・鰹節の削り体験・だしの味比べ など 	ワークシート分析 行動観察(実習等) 演習レポート分析等
期末考査				
1	マナー	<ol style="list-style-type: none"> 衣文化とマナー 生活のマナー 1年間のふり返り 	<ul style="list-style-type: none"> おしゃれと身だしなみの違いを理解し、社会人として、まわりに調和する装いを考える。 冠婚葬祭、和室でのマナー、テーブルマナーなど、場面に応じたマナーを考える。 一年間の衣食住・家庭経済等に関する学びをふり返り 	ワークシート分析 行動観察(演習等) 演習レポート分析等
期末考査				

3 評価の観点

関心・意欲・態度	身近な生活について関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組もうとしている。
思考・判断・表現	身近な生活や実践的・体験的な学びから課題を意識し、感じ取ったことや考えたことを、自分なりに工夫しながら整理し表現しようとしている
技能	製作・演習を行う上で、自分の構想を表現するために必要な技術を身につけ、必要に応じて表現方法を工夫して表わしている。
知識・理解	身近な生活に関する基礎知識や、社会人としての自立に必要な基本的な知識を理解している。

4 評価の方法

家庭への関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能、知識・理解の4観点から評価基準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- 授業に必要な道具(教科書・プリント・ファイル)は、毎時間必ず用意すること。
- 生活に関するニュースや身のまわりの出来事に興味関心を持つように心がける。
- 授業時間に配るワークシート・プリント・実技の進度票を記入して時間中に提出する。毎回きちんと書き取りまとめること
- 提出物は、期限を守ることを意識する。
- 被服実習で未完成のものは、評価を欠点とする。
作業はすべて学校でおこなうので、授業時間内に完成しない人は指定した日に居残りをして作業をすること。
- 調理実習は、安全と衛生(爪・髪)・服装＝準備(エプロン・三角巾・付近・手ふきタオル持参) に注意しながら行うこと。